

安全データシート

1. 製品及び会社情報

- ・製 品 名 : グルコースWBバッファーキット
- ・製 品 コ ー ド : 221203
- ・供 給 者 の 会 社 名 称 : 株式会社エイアンドティー
〒252-0816 神奈川県藤沢市遠藤 2023 番地 1
電話番号 0466-86-8660
- ・問 い 合 わ せ 先 : 株式会社エイアンドティー カスタマーサポートセンター
〒252-0816 神奈川県藤沢市遠藤 2023 番地 1
電話番号 0120-487-030
- ・推 奨 用 途 : **グルコース分析装置で使用する緩衝液**
- ・使 用 上 の 制 限 : 所定用途以外に使用しないこと

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類

環境に対する有害性

- ・水生環境有害性 短期（急性） : 区分3
- ・水生環境有害性 長期（慢性） : 区分3

GHSラベル要素

- 絵表示又はシンボル : 該当なし
- 注意喚起語 : 該当なし
- 危険有害性情報 : 長期継続的影響により水生生物に有害

- 注意書き **【安全対策】** : 環境への放出を避けること。
- 【廃棄】** : 内容物/容器を市区都道府県の規則に従って廃棄すること。

国/地域情報 : 情報なし

3. 組成及び成分情報

- ・化学物質・混合物の区別 : 混合物
- ・製品名 : グルコース WB バッファーキット
- ・内容物 : 2 L × 6 本
- ・成分及び含有量
 - アジ化ナトリウム : 0.1 w/w% 未満
 - ・化学物質を特定できる一般的な番号 : CAS 番号 26628-22-8
 - ・官報公示整理番号 : 化審法化学物質 1-482
 - 非イオン性界面活性剤 : 0.1 w/w% 未満
 - 防腐剤 : 0.01 w/w% 未満

4. 応急措置

- ・吸入した場合 : 呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。
- ・皮膚に付着した場合 : 多量の水と石鹸で洗うこと。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
皮膚刺激が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けること。
- ・眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。
- ・飲み込んだ場合 : 気分が悪いときは、医師に連絡すること。
- ・予想される急性症状及び遅発性症状
 - 急性症状 : データなし
 - 遅発性症状 : データなし
- ・最も重要な兆候及び症状 : データなし

5. 火災時の措置

- ・適切な消火剤 : 粉末消火薬剤、水噴霧、泡消火薬剤、二酸化炭素
- ・使ってはならない消火剤 : データなし
- ・火災時の特有の危険有害性 : データなし
- ・特有の消火方法 : データなし
- ・消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

：空気呼吸器など適切な保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

- ・人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
：作業者は適切な保護具（8. ばく露防止及び保護措置の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。
- ・環境に対する注意事項
：河川等に排出されないように注意する。
- ・回収、中和
：漏洩した製品を布切れに吸収させて、密閉できる容器に回収する。
- ・封じ込め及び浄化の方法及び機材
：危険でなければ漏れを止める。

7. 取扱い及び保管上の注意

- ・取扱い
技術的対策
：作業者は適切な保護具（8. ばく露防止及び保護措置の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。
- 安全取扱注意事項
：この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
吸入又は飲み込まないこと。
取扱い後は、手を洗うこと。
- 接触回避
衛生対策
：（10. 安定性及び反応性の項を参照）
：取扱い後はよく手を洗うこと。
- ・保管
安全な保管条件
：ボトルを密栓して、5-30℃で保存する。
- 安全な容器包装材料
：包装、容器の規制はないが、密閉式の破損しないものに入れる。

8. ばく露防止及び保護措置

- ・許容濃度等
：データなし
- ・設備対策
：特別な換気要求事項はない。
- ・保護具
呼吸用保護具
：保護マスクを着用すること。
手の保護具
：不浸透性保護手袋を着用すること。
眼、顔面の保護具
：側板付保護眼鏡、必要によりゴーグル型保護眼鏡を着用すること。
皮膚及び身体の保護具
：長袖保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

- ・物理状態
：液体
- ・色
：無色透明
- ・臭い
：データなし
- ・融点/凝固点
：データなし
- ・沸点又は初留点及び沸点範囲
：データなし
- ・可燃性
：データなし
- ・爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界
：データなし
- ・引火点
：データなし
- ・自然発火点
：データなし
- ・分解温度
：データなし
- ・pH
：6-8
- ・動粘性率
：データなし
- ・溶解度
：水と自由に混和する
- ・n-オクタノール/水分配係数(log 値)
：データなし
- ・蒸気圧
：データなし
- ・密度及び/又は相対密度
：データなし
- ・相対ガス密度
：データなし
- ・粒子特性
：データなし

10. 安定性及び反応性

- ・反応性
：データなし
- ・化学的安定性
：データなし
- ・危険有害反応可能性
：データなし
- ・避けるべき条件
：データなし
- ・混触危険物質
：データなし
- ・危険有害な分解生成物
：データなし

11. 有害性情報

- ・急性毒性
急性毒性（経口）
：以下の区分の急性毒性（経口）の物質を含む。
区分2；アジ化ナトリウム（0.1 w/w%未満）
区分2；防腐剤（0.01 w/w% 未満）
これより、混合物の急性毒性（経皮）推定値ATE_{mix} > 10,000mg/kg が算出される。
(JIS 分類による)
- 急性毒性（経皮）
：以下の区分の急性毒性（経皮）の物質を含む。
区分1；アジ化ナトリウム（0.1 w/w%未満）
区分2；防腐剤（0.01 w/w% 未満）
これより、混合物の急性毒性（経皮）推定値ATE_{mix} > 10,000mg/kg が算出される。
(JIS 分類による)

- ・皮膚腐食性／刺激性 : 混合物として急性毒性（経皮）区分に該当しない。
: 以下の区分の皮膚刺激性の物質を含む。
区分 1；アジ化ナトリウム（0.1 w/w%未満）
区分 1C；防腐剤（0.01 w/w% 未満）
混合物として皮膚腐食性／刺激性区分に該当しない。
- ・眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 : 以下の区分の眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性の物質を含む。
区分 1；アジ化ナトリウム（0.1 w/w%未満）、防腐剤（0.01 w/w% 未満）
区分 2A；非イオン性界面活性剤（0.1 w/w%未満）
混合物として眼に対する重篤な損傷性／刺激性は区分に該当しない。
- ・呼吸器感作性又は皮膚感作性
呼吸器感作性 : 分類できない。
皮膚感作性 : 以下の区分の皮膚感作性の物質を含む。
区分 1A；防腐剤（0.01 w/w% 未満）
混合物として皮膚感作性は区分に該当しない。
- ・生殖細胞変異原性 : 分類できない。
- ・発がん性 : 分類できない。
- ・生殖毒性 : 分類できない。
- ・特定標的臓器毒性（単回ばく露） : 以下の区分の特定標的臓器毒性（単回ばく露）の物質を含む。
区分 1（心血管系、肺、中枢神経系、全身毒性）；アジ化ナトリウム（0.1 w/w%未満）
混合物として特定標的臓器毒性（単回ばく露）は区分に該当しない。
- ・特定標的臓器毒性（反復ばく露） : 以下の区分の特定標的臓器毒性（反復ばく露）の物質を含む。
区分 1（中枢神経系、心血管系）；アジ化ナトリウム（0.1 w/w%未満）
区分 2（肺）；アジ化ナトリウム（0.1 w/w%未満）
混合物として特定標的臓器毒性（反復ばく露）は区分に該当しない。
- ・誤えん有害性 : 分類できない。

1.2. 環境影響情報

- ・生態毒性 : 当該物質の主な水生環境有害性（急性）成分
急性区分 1；アジ化ナトリウム(0.1 w/w%未満) 0.1、防腐剤 (0.01 w/w% 未満) 0.01 として計算
急性区分 2；非イオン性界面活性剤(0.1 w/w%未満) 0.1 として計算 M：毒性乗率
急性 2 (M×10×急性 1) + 急性 2
= (1×10×0.1) + (100×10×0.01) + 0.1 = 11.1% < 25%
→急性 2 には区分されない。
急性 3 (M×100×急性 1) + (10×急性 2) + 急性 3
= (1×100×0.1) + (100×100×0.01) + (10×0.1) + 0 = 111% > 25%
→急性 3 に区分される。
混合物は、水生環境有害性区分 3 に分類される（JIS 分類による）。
環境への放出を避けること。
当該物質の主な水生環境有害性（慢性）成分
慢性区分 1；アジ化ナトリウム(0.1 w/w%未満) 0.1、防腐剤 (0.01 w/w% 未満) 0.01 として計算
慢性区分 2；非イオン性界面活性剤(0.1 w/w%未満) 0.1 として計算 M：毒性乗率
慢性 2 (M×10×慢性 1) + 慢性 2
= (1×10×0.1) + (100×10×0.01) + 0.1 = 11.1% < 25%
→慢性 2 には区分されない。
慢性 3 (M×100×慢性 1) + (10×慢性 2) + 慢性 3
= (1×100×0.1) + (100×100×0.01) + (10×0.1) + 0 = 111% > 25%
→慢性 3 に区分される。
混合物は、水生環境有害性区分 3 に分類される（JIS 分類による）。
環境への放出を避けること。
- ・残留性・分解性 : データなし
- ・生体蓄積性 : データなし
- ・土壌中への移動性 : データなし
- ・オゾン層への有害性 : 分類できない。

1.3. 廃棄上の注意

- ・残余廃棄物 : 廃棄物の処理にあたっては、該当する法規、条例、規定等に従って適切に処理すること。
- ・化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報 : 関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

1.4. 輸送上の注意

- ・特別の安全対策 : 運搬に際しては内容物の漏れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷が生じないように積み込み、荷崩れの防止を確実に進行。
- ・国内規制がある場合の規制情報 : 非該当

15. 適用法令

- ・ 該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報
 - 毒物及び劇物取締法 : 非該当
 - 医薬品医療機器等法 : 非該当
 - 労働安全衛生法 : 非該当
 - 化学物質排出把握管理促進法 : 非該当

16. その他の情報

引用文献

- 1) 14906 の化学商品 化学工業日報社 (2006)
- 2) 国際化学物質安全性カード(ICSC) 日本語版 化学工業日報社
- 3) DFGOT vol. 20 (2003)
- 4) ACGIH (2001)
- 5) RTECS (2004)
- 6) NTPTR389 (1991)
- 7) AQUIRE, 2010
- 8) 既存点検, 2000

記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成していますので、新しい知見によって改訂されることがあります。
記載の注意事項は通常の取扱いを対象とした情報提供であり、必ずしも安全性を保証するものではありません。